

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-32 □支 援 部 門		管渠維持管理費						
主管課	道水路管理課	関連課	下水道課・作業センター						
分野名	下水道・河川								
目標 (目標値)	既存管路施設の維持管理を行う								
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考				
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	222	222	222					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	222	222	222					
	人員配置数	0.4	0.4	0.4					
	人 件 費(千円)	3,514	3,640	3,698					
	協 働 の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	3,736	3,862	3,830					
	市民1人当 りの経費(円)	21	22	22					
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。					
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。					
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
管渠維持管理費	222千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
	事業の概要	既存管路施設の賃借料							
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性	
	事業の概要								

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)						
H22年度の課題	特になし。					
課題解決のための取組						
未解決の課題						
今後の方針	当面は現状を維持しながら、事業の進展に応じて必要な見直しを行う。					
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	B	※ □事業完了	課長名	道水路管理課長 稲葉 一男

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
管渠維持管理費	536	土地賃借料	222	222	□適切 ■見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり